

経験年数・職位目安	育成するコア能力	到達目標	行動目標	保健師に求められる専門能力								目標設定		最終評価						
				企画立案能力	調査研究能力	情報収集能力	保健事業運営能力	地域支援能力	個人・家族・集団・管理健康能力	健康危機管理能力	社会資源開発能力	連携・調整・評価能力	事業・政策	人材育成能力	具体的な目標	達成方法	評価	評価次期に向けて	管理指導者コメント	
中堅後期16～25年（主任保健師・主査）	リーダーシップを発揮した活動推進・評価	1 2 3 複雑困難な事例（事例）の支援のための組織的・地域的・意図的な情報収集と分析、住民団体の主体的な活動の支援や資源の活用ができる	①複雑困難な事例支援のコーディネートができる																	
			②住民主体の集いや自助グループ等の育成・支援について助言ができる																	
			③地域包括ケアシステムを推進するために必要な連携体制の構築に向けて、関係機関への働きかけが実施できる																	
			④会議や協議会等で、地域包括ケアシステムを構築するための必要な連携体制の検討ができる																	
			⑤健康危機発生時、指示命令に従って全体における自分の役割を見極め、リードしながら実践していく																	
			⑥健康危機発生時、指示系統に沿った自分の役割を察知し自発的に動き、報告を行うことができる																	
			⑦地域の課題、管内の社会資源の実態を整理し、開発や改善が必要となる社会資源について、情報共有・発信ができる																	
			⑧管内の潜在的な健康問題をデータに基づき顕在化することができる																	
			⑨施策化を視野に入れた新規事業の提案・試行が実施できる。																	
			⑩市町村の個別支援や保健事業に対し助言・指導ができる																	
			⑪管内保健師の研修・現任教育支援が実施できる																	
			⑫研究的視点で支援・事業・政策の評価を行い、業務改善の方向性を見出し発表できる																	

※到達度は5段階で評価する
 5 達成している(助言なし、または少しの助言で発展させることができる)
 4 ほぼ達成(具体的な助言により達成できる)
 3 課題が残る(具体的な助言を繰り返すことのできる)
 2 達成できない(具体的な助言を繰り返しても不十分)
 1 体験する機会がない